

平成29年10月1日現在の保育所等利用待機児童数について

平成29年10月1日現在の国の新たな定義¹に基づく本市の待機児童数は、248人となりました。

希望する保育所等の利用が保留となった児童数は800人となりました。

今後につきましても、保育需要の動向を見極めながら、認可保育所等の整備や認定保育室の認可化を進めるとともに、保育士等の確保や保育の質の向上を図ります。

¹ 厚生労働省が平成29年3月31日に定めた「保育所等利用待機児童数調査要領」に基づく集計方法

1 保留児童及び待機児童の状況

(単位：人)

	平成29年10月1日(X)	平成28年10月1日(Y)	(参考)増減 (X) - (Y)
就学前児童数	33,469	34,404	935
利用申込者数(A)	13,102	12,684	418
利用児童数(B)	12,302	11,781	521
保留児童数(C) = (A) - (B)	800	903	103
市の保育施策で対応している児童等(D)	167	199	32
相模原市認定保育室利用	137	172	35
一時保育利用	28	23	5
幼稚園利用	2	4	2
求職活動等(E) ²	87	196	109
企業主導型保育利用(F)	0	0	0
特定の園を希望(G) ³	291	304	13
育児休業関係(H) ⁴	7	146	139
待機児童数(C) - (D) - (E) - (F) - (G) - (H)	248	58	190

2 主に自宅で求職活動を行っている等、保育の必要性が認められない場合

3 1園のみを希望又は他に利用可能な保育所等があるにもかかわらず、特定の保育所等を希望している場合

4 育児休業中で、復職の意向がない場合

注) 平成28年10月1日現在の保留児童数及び待機児童数の数値は、従前の定義に基づく数値

注) 新たな定義における主な変更点

次の場合は、待機児童数に含めることとなりました。

- ・ 求職活動中であることが電話や書面等で確認することができる場合
- ・ 特定の保育所等を希望することについて、特別な支援が必要な子どもの受入体制が整っていないなど、やむを得ない理由がある場合
- ・ 育児休業中の申込みで、保育所等に入所できたときに復職することを、電話や書面等で確認することができる場合

2 参考資料

(1) 年齢別の状況

0歳～2歳児の保留児が93.3%を占めています。

<平成29年10月1日現在>

区分		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
保留児童数	人数	379人	247人	121人	36人	15人	2人	800人
	年齢別割合	47.3%	30.9%	15.1%	4.5%	1.9%	0.3%	100.0%
待機児童数	人数	134人	73人	30人	9人	2人	0人	248人
	年齢別割合	54.1%	29.4%	12.1%	3.6%	0.8%	0.0%	100.0%

<参考 平成28年10月1日現在>

区分		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
保留児童数	人数	375人	289人	151人	53人	22人	13人	903人
	年齢別割合	41.5%	32.0%	16.7%	5.9%	2.5%	1.4%	100.0%
待機児童数	人数	29人	13人	12人	2人	1人	1人	58人
	年齢別割合	50.0%	22.4%	20.7%	3.5%	1.7%	1.7%	100.0%

(2) 区別の状況

保留児童が最も多い区は、南区となっています。

<平成29年10月1日現在>

区分		緑区	中央区	南区	管外	計
保留児童数	人数	213人	243人	339人	5人	800人
	区別割合	26.6%	30.4%	42.4%	0.6%	100.0%
待機児童数	人数	55人	84人	107人	2人	248人
	区別割合	22.2%	33.9%	43.1%	0.8%	100.0%

<参考 平成28年10月1日現在>

区分		緑区	中央区	南区	管外	計
保留児童数	人数	207人	307人	380人	9人	903人
	区別割合	22.9%	34.0%	42.1%	1.0%	100.0%
待機児童数	人数	9人	19人	29人	1人	58人
	区別割合	15.5%	32.8%	50.0%	1.7%	100.0%

問合せ先
 こども・若者政策課
 電話 042-769-8316